

地域計画

策定年月日	令和7年3月19日
更新年月日	()
目標年度	令和11年度
市町村名 (市町村コード)	田村市 211
地域名 (地域内農業集落名)	山根地区 (山根)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	215.74 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	123.84 ha
② 田の面積	46.45 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	77.39 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	45.37 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	1.92 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	70.27 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	70.27 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

阿武隈高地の稜線が連なる中山間地域で、山々を縫うように農地が広がっており、葉たばこ、水稻、畜産を中心に長く複合経営が行われてきたが、農業者の高齢化や後継者不足による離農者が増加し、耕作放棄地の増加が顕著となっている。
地域内における担い手が少なく、基盤整備事業などが行われていない不整形かつ小規模な農地が多いため、担い手の確保と耕作条件の向上を図る農地整備が喫緊の課題となっている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

担い手確保へ向けた取組みを進めることを最優先としたうえで、耕作条件の向上が見込める農地については基盤整備事業への取組みを検討していく。
地域農業の担い手としては、既存営農者による集落営農組織の結成を視野に入れるとともに、地域外からも希望する農業法人や認定農業者等を受け入れ、直接支払事業等を活用して地域全体の農地を保全管理していく仕組みづくりを進める。
水稻を中心に担い手への集約を図るとともに、振興作物であるサツマイモ、エゴマ、そば等の栽培や複合経営に取組み、収益向上を図っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理機構(農地バンク)への貸し付けを進め、担い手への集積・集約化を基本として農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	1	%	将来の目標とする集積率
			18 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手確保と基盤整備事業等の検討を進め、40ha程度の農地集積と団地形成を目指す。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積・集団化の取組 基盤整備事業への取組みを契機として地権者及び地域住民の合意形成を図り、担い手への集積・集約化を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法 地域全体を農地バンクに貸し付け、担い手への経営意向を踏まえて集約化を図る。 農地の出し手・受け手双方の意向を把握しながら、関係機関と連携して農地中間管理機構の活用を図っていく。
(3) 基盤整備事業への取組 地域全体の農地を対象とし、耕作条件の向上及び団地化が容易に見込める農地について、大区画化・汎用化等の基盤整備を令和10年までに計画する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組 地区内の担い手確保を最優先に取り組むとともに、地域外からも多様な経営体を募り、市およびJAと連携しながら定着に向けて取り組む。また、農地保全を目的に集落営農組織の設立に向け、地区内の合意形成を図る。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 作業効率化と経費負担の軽減が図られる農作業については、農業支援サービス事業者への業務委託を検討していく。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☒ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①イノシシ等による農作物被害があるため、電気柵、箱罾、くくり罾等を設置するほか、市担当部署や駆除隊等が連携して被害低減を図る。

③作業の効率化及び生産性の向上に向け、先端技術を活用したスマート農業の導入を検討していく。

⑦中山間・多面的直接支払事業を活用して、農用地等の保全管理を行う。

⑨ 畜産業を営む農家及び法人と連携し、堆肥の供給を受けて水稻や飼料用米を栽培するとともに乾燥稲わらを畜産農家等へ供給する地域内循環に取り組む。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 11 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
別紙1のとおり									
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4. 作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5: 備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

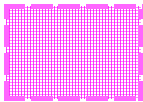
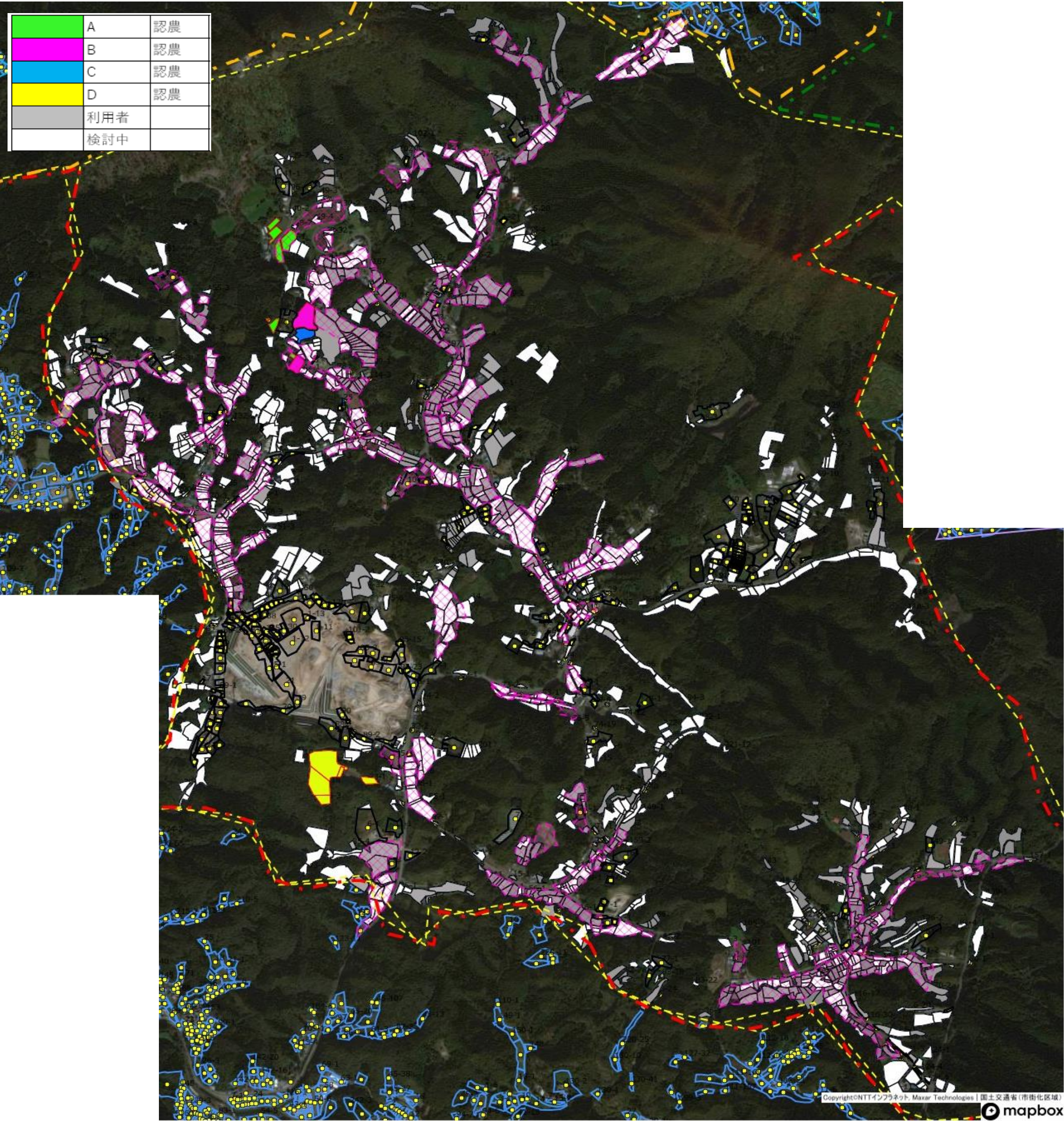
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 11 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農 A	水稻・畜産	1.92 ha	ha	水稻・畜産	1.92 ha	ha	A	
2	認農 B	蕎麦	0.69 ha	0.69 ha	蕎麦	0.69 ha	0.69 ha	B	
3	認農 C	水稻	0.89 ha	ha	水稻	0.89 ha	ha	C	
4	認農 D	畜産	2.64 ha	2.64 ha	畜産	2.64 ha	2.64 ha	D	
5	利用者 E	水稻	0.92 ha	ha	水稻	0.92 ha	ha	利用者	
6	利用者 F	水稻・畜産	3.95 ha	ha	水稻・畜産	3.95 ha	ha	利用者	
7	利用者 G	水稻・野菜	1.08 ha	ha	水稻・野菜	1.08 ha	ha	利用者	
8	利用者 H	蕎麦	0.39 ha	ha	蕎麦	0.39 ha	ha	利用者	
9	利用者 I	水稻	1.01 ha	ha	水稻	1.01 ha	ha	利用者	
10	利用者 J	水稻	3.36 ha	ha	水稻	3.36 ha	ha	利用者	
11	利用者 K	水稻	4.04 ha	ha	水稻	4.04 ha	ha	利用者	
12	利用者 L	水稻	2.47 ha	ha	水稻	2.47 ha	ha	利用者	
13	利用者 M	水稻	0.94 ha	ha	水稻	0.94 ha	ha	利用者	
14	利用者 N	水稻・畜産	2.15 ha	ha	水稻・畜産	2.15 ha	ha	利用者	
15	利用者 O	水稻・野菜	2.10 ha	ha	水稻・野菜	2.10 ha	ha	利用者	
16	利用者 P	水稻	3.79 ha	ha	水稻	3.79 ha	ha	利用者	
17	利用者 Q	水稻	2.63 ha	ha	水稻	2.63 ha	ha	利用者	
18	利用者 R	水稻・野菜	2.48 ha	ha	水稻・野菜	2.48 ha	ha	利用者	
19	利用者 S	水稻	1.38 ha	ha	水稻	1.38 ha	ha	利用者	
20	利用者 T	水稻・畜産	2.17 ha	ha	水稻・畜産	2.17 ha	ha	利用者	
21	利用者 U	水稻・畜産	1.32 ha	ha	水稻・畜産	1.32 ha	ha	利用者	
22	利用者 V	水稻・蕎麦	3.65 ha	ha	水稻・蕎麦	3.65 ha	ha	利用者	
23	利用者 W	水稻	1.93 ha	ha	水稻	1.93 ha	ha	利用者	
24	利用者 X	水稻	1.34 ha	ha	水稻	1.34 ha	ha	利用者	
25	利用者 Y	水稻・花き	4.79 ha	ha	水稻・花き	4.79 ha	ha	利用者	
26	利用者 Z	水稻	3.48 ha	ha	水稻	3.48 ha	ha	利用者	
27	利用者 AA	水稻	2.49 ha	ha	水稻	2.49 ha	ha	利用者	
28	利用者 AB	水稻	3.27 ha	ha	水稻	3.27 ha	ha	利用者	
29	利用者 AC	水稻	1.94 ha	ha	水稻	1.94 ha	ha	利用者	
30	利用者 AD	水稻	1.71 ha	ha	水稻	1.71 ha	ha	利用者	
31	利用者 AE	水稻	2.48 ha	ha	水稻	2.48 ha	ha	利用者	
32	利用者 AF	水稻	3.48 ha	ha	水稻	3.48 ha	ha	利用者	
33	利用者 AG	水稻	2.35 ha	ha	水稻	2.35 ha	ha	利用者	
34	利用者 AH	水稻	3.33 ha	ha	水稻	3.33 ha	ha	利用者	
35	利用者 AI	水稻	1.02 ha	ha	水稻	1.02 ha	ha	利用者	
36	利用者 AJ	水稻	1.79 ha	ha	水稻	1.79 ha	ha	利用者	
37	利用者 AK	水稻	2.47 ha	ha	水稻	2.47 ha	ha	利用者	
38	利用者 AL	水稻・畜産	0.75 ha	ha	水稻・畜産	0.75 ha	ha	利用者	
39	利用者 AM	水稻・野菜	34.46 ha	ha	水稻・野菜	34.46 ha	ha	利用者	
	計	39経営体	119.07 ha	3.32 ha		119.07 ha	3.32 ha		

山根地区地域計画目標地図



将来に渡り守るべき農地の範囲（候補地）
※耕作条件が比較的良好かつ団地形成が容易な農地（基盤整備事業の候補地）
※地域の景観維持の観点から、農地の保全管理が必要な農地